

ゆめはな だより

なごみ福祉会・夢花事業部のコミュニティペーパー

リニューアル

2019
NOVEMBER
11

contents

Top News

地域社会との つながりに感謝して

2P・ゆめはなトピックス

感謝祭&パラアート展

3P・各部門よりお知らせ

・研修報告

4P・活動報告・職員紹介・編集後記

▲パラアート展では個性的なアート 70 枚ほどを額装して展示しました

11月 Top News

地域社会

とのつながり

に感謝して

夢花事業部部長
梶山 則行

夢花事業部の日頃の活動の様子を、地域の方がたにお知らせする事と、関係者の皆様へのお礼を目的に毎年実施している「夢花感謝祭」を9月28日に開催する事が出来ました。

来年の東京パラリンピックには、世界中から障害者の代表が集い、熱戦を繰り広げる事でしようが、スポーツ以外にも障害者の方が持っている可能性や魅力を、発信しようと、昨年に引き続き、利用者の方が創作した作品を「パラアート展」として展示させて頂きました。

絵画や音楽等の芸術は、障害の有無や程度、思想や信条を超えて、観る人、聴く人に自然な感動を与えてくれるものだと思います。小さな会場でしたが、展示された作品の一つ一つに、作者の個性が感じられ、楽しい空間を作り出してくれたような気がします。

10月の台風19号では、事業部の各事業所での被害は特に有りませんでした。が、当法人の「稲田堤なごみ保育園」は、近くの川の越水により、園施設が水と泥で、一杯になってしまいました。

雨が上がり、とすぐに、保護者の方や地域の方が大勢駆けつけて、復旧作業に当たって下さいました。地域の方の理解とご協力を頂く事の大切さと、有難さ

当日は、国政に関わる方も、忙しい時間の合間に会場に足を運んで下さり、ご家族の方と交流し、地域の福祉課題についての要望にも耳を傾けて頂いたのも、芸術が持つ魅力やエネルギーが原因かもしれません。

夢花事業部では、休日や夜間の支援も行っている為、事業部の行事でもその場に参加が出来ない職員も多い状況です。グループホームでの暮らしや児童支援の様子をビデオを使って紹介をさせて頂きました。

今回は、国政に関わる方も、忙しい時間の合間に会場に足を運んで下さり、ご家族の方と交流し、地域の福祉課題についての要望にも耳を傾けて頂いたのも、芸術が持つ魅力やエネルギーが原因かもしれません。

夢花事業部では、休日や夜間の支援も行っている為、事業部の行事でもその場に参加が出来ない職員も多い状況です。グループホームでの暮らしや児童支援の様子をビデオを使って紹介をさせて頂きました。



▲ドリーム高橋職員のご主人制作の看板

を改めて実感した次第です。

今回被災された方々に、心からお見舞いを申し上げます。に、ご心配とご協力を頂いた皆様へ、心からお礼を申し上げます。今後、利用者の方の平穏な生活を守るだけでなく、地域の為に役立つ事、出来る事を見出して、少しでも地域の皆様に役立つ事業所となるように努力をして行きますので、宜しくお願い致します。



上：パラアート展では生活ホームの動画も上映しました
右：台風で床上浸水したなごみ保育園の復旧作業



療育事業部
& ATOKOさん
コンサート

ユーモアあるスピーチもあり
ありがとうございました。
利用者の方と国会に見学に
来て下さい、とお誘いも
頂きました♪みんなで行
ってみたいですね！

夢花職員のご縁で
中山のりひろ外務大臣政務官が
いらして下さいました。

夢花感謝祭 &
パラアート展

▲おかげさまで満員で賑わったカフェ！



7



5



3



2

完
売
御
礼
!

- 1: 療育事業部コンサート
ATO KOさんゲスト出演
- 2: 大忙だった厨房
- 3: ドリーム作 のれんアート
- 4: 展示販売コーナーも賑わいました
- 5: パラアートメイン会場
- 6: 缶バッジ作り
- 7: 木のストラップ作り



6



4

ご寄稿

川崎市市民ミュージアム
副館長 林 司 様

今回で2回目となる「ゆめはな感謝祭&パラアート展」は、パラアートという言葉を知らない方でも、会場に一步足を踏み入れれば思わず笑みがこぼれてしまう魅力的なイベントでした。風刺のきいたひとことが添えられたイラストや、今年のテーマ「和」にちなみ掛け軸風に仕立てた迫力ある絵画、額装されて魅力を増した手書きの文字や言葉など、どれも興味深く拝見させていただきました。

特に木工作品はクオリティが高く、鳥の形をした木製バターナイフは他では見ないお洒落なデザイン。また、使い心地の良さそうな木べらは丹念に紙やすりがかけられていて、つるつるの肌触りが心地よかったです。購入したものを、色鉛筆で手書きのイラストが添えられた紙袋に入れていただいたのも素敵な思い出になりました。

次回も楽しみにしています。

ご多忙の中、ご来場とご寄稿
ありがとうございました！

感謝祭実行委員長より

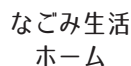
令和になって初めての感謝祭が9月28日に開催されました。当日は天気も良く、ちよつと暑いくらいのお祭り日和になりました。今回は元号も変わったということで、どこことなく「和」を感じられる感謝祭にしたいと、「和」を内部向けのテーマにしました。食事やアート、イベント等どこかで和を感じて頂けていたら、私としては大成功だと感じています。

また今回、自主的に実行委員長に手を挙げさせてもらいましたが、職員の日常業務に支障がないように、「コンパクトでありながらテーマ性がある完成度も高い感謝祭」にしたいという意図がありました。前年は例年の感謝

祭の内容に加えてパラアート展示が追加されて試行錯誤した経緯も踏まえ、今年はアート担当の佐藤職員やデザインアドバイザーの寺内さん、実行委員メンバー、協力頂いた方みなさんの力で当初の狙い通りに、さほど無理なく準備・設営ができたのでは、と自負しています。

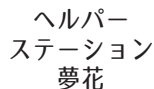
ご来場の方々からお褒め頂きまして概ね満足してもらえたのではないのでしょうか？初めての木工ワークショップも好評でした。

逆にカフェでは想定より多くのお客様がいらして、行列ができてしまい課題も残りました。お暑い中いらして頂いた方々、準備、看板制作、設営等々にご協力頂いた方々、誠にありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願い致します。 文・牛根



夢花工房
ぽぱい

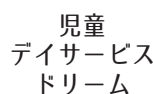
ケ・キ店「モンマルトル」様の跡地の建屋の1、2階を分場「モンマルトル」として登録をし1階で「オーロラ」、2階で「デイリー」が活動をします。



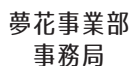
川崎市の委託を受け、「行動援護従事者養成研修」を実施します。

日時 ■ 令和2年1月12・13日、19日
場所 ■ 多摩川あゆ工房

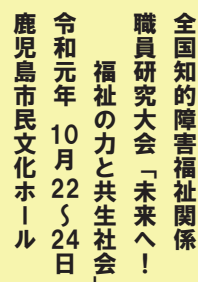
なごみ福祉会夢花事業部で実施する研修会は今回と来年度の次の2回のみとなります。障害者の支援に1年以上の経験がある方は研修修了後に資格者として「行動援護」ヘルパーとして活動が可能になります。積極的に参加を検討して下さい。詳細は後日、事業所に通知されます。



令和元年10月1日より管理者が中
村行啓より梶山則行に変更になり
ました。



感謝祭で事業部内のグループホームの活動の様子をビデオにまとめて放映をしました。夢花事業部には、14ユニットのグループホームがあります。業務の関係で職員や利用者の方が毎回、会場に足を運べない状況ですので、部分的にも映像を通して紹介をする事で多くの方に関心を持って貰えたいようです。今後とも記録を重ねて行く予定です。ので宜しくお願いします。

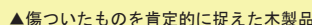


鹿児島市内にあるしょうぶ学園統括施設長の話を受け、自分がこれまで培って

きたであらう事の一部分が崩れる感覚に陥った。3日目に現地を訪れたところ、少しだけ目の前の霧が晴れたような気持ちになった。

現在「枠組みを」という表現がよく使われる。人によつて程度は違えど、必要な手段の一つだと考えている。ただ、他者の人生にどこまで関与してよいのかという戸惑いが常にある。もちろん、最終的に「決定」するのは本人だが、

そのための「下準備」をする責任は大きいからである。場合によっては、周囲の事情や責任についても考えねばならず、ある程度「整備」して提示することもある。また、計画を突き詰めると、果たして本人だけのためなのか、実は誰が困るのか、と疑問が浮かぶことがある。そんな葛藤を抱えながら見えてきたことは、人は必ずしも枠には入らない「価値観」をもっていることを認識し、そこを最大限に尊重しなければならないということである。そのためには、職員自身が感性を磨き、豊か



な眼で相手を見ていかなければならないが、前出の統括施設長は「不適応な行動については否定的に見られてきた。僕はそこをプラスに見ている」と話していた。ある人が没頭している「無意味な行動」に着目し、本人の「行為」はそのまま尊重し、それをアーティストとしての活動に変化させた話もあった。

本人がアーティストになりたいかは別として、その人がやろうとしている事を肯定的に捉えたと、結果的に全体的な見方も変わるのではないだろうか。また、スプーンを作る際、スプーンに傷をつける人がいたという。支援者はその行為を尊重し、傷を「模様」として捉えた。本人がやっていることと支援者の意図が融合せずとも、上手くマッチさせたのである。施設長はそれを「差異を認める。許容する。それが暮らしやすくする」と話していた。

私は、しょうぶ学園から「意思を尊重すること」の本質的な部分を少し見出すことができたと感じている。

文・佐藤

ドリーム

ハッピーハロウィン♪

今年もドリームではハロウィンパレードを開催しました。

みんなで仮装してご近所の「デシリ」・「夢花工房オリーブ」、社会福祉法人「らぼおのの樹」様が運営する「ショップ風」にお邪魔してお菓子をもらいに行きました。

成人の利用者様にあまり出会う機会のない児童達ですが、お菓子の受け渡しを通して打ち解けた様子でした。短い時間ですが、まるで孫が遊びにきたような和やかな雰囲気の流れとなりました。パレードでは道ゆく人々も仮装した児童の愛らしい姿に注目していました。そんな光景も地元では風物詩の一つとして溶け込んできたように感じます。

文・赤埴

▲今年も可愛いハロウィンパレードになりました♪

女子ホーム

今年度の女子ホーム旅行は少人数のグループに分かれて行いました。9月16、17日に今回はその一部、一泊二日で行った静岡県下田旅行のご報告いたします♪小田原から伊豆踊り子号に乗り、駅弁を食べながら下田駅へ！下田駅で周辺散策をしながら民宿へ向かいました。

民宿に到着し温泉に入り一休み。夕食は何と！伊勢海老、サザエなど食べきれないほどの豪華料理！沢山食べて大満足でした♪1日目は1日お世話になった民宿の皆さんにお礼を伝えホームがある神奈川県を目指します。まずは、海岸線歩きながら下田駅へ。途中、道の駅にてお土産を買い、熱海にてお昼休み。足湯にも入りみんな声を揃えて「気持ちいいねえ〜♪」とリラックス。ホームに着く頃には夕焼け空でしたがホームに戻り



左：なんと豪華な料理〜！
上：海沿いで記念撮影♪



世話人さんへ
元気に「ただいまー」と帰ってきました。
本当に皆さんお疲れ様でした♪
文・石川

オリーブ

10月25日を日帰り旅行の日として芦ノ湖で遊覧船に乗りうと決めたのは何カ月前のこと。

なのになぜ？当日に限って大雨。バスの窓には激しい雨が打ちつけ。昼食場所の「山のホテル」に着くと、寒い寒いと急いで中に入りました。素晴らしいお食事をいただき、ホッとして窓の外を見ると、雨で白く煙った湖に遊覧船の姿。

「このあと乗るんだよね？」と、

ちよつと心配そうな皆さん。前の週末で台風の影響で運休していましたが、無事乗ることができた強運な私たち。空いていたので広々。雨も弱まり甲板に出ると気持ち良い風が吹いていて、皆さんの気分も上がってきました。そしてここでハプニング。船着き場に先回りしているはずのバスが通行止めにあい、しばらく待ちぼうけ。帰る頃になってようやく雨が上がり、芦ノ湖の水と周囲の緑がキラキラと輝いて美しい姿を見せてくれました。帰りの高速道路では大きな虹が！最高のごほうびでしたね。忘れられない1日となりました。

文・安藤



編集後記



年号が令和になり、いよいよ新しい時代の幕開けになった気がします。そこで、新しい幕開けにふさわしく「ゆめはなだより」もリニューアルしました！読みやすく、親しみやすい、オシャレなコミュニティペーパーとして生まれ変わりました。今後もこの「ゆめはなだより」を通して、夢花事業部の取り組みや活動報告を続々とお届けします。発行にあたり、寄稿してくださった方、デザインレイアウト担当の寺内さん、ご協力頂いたみなさまに心より感謝申し上げます。 文・中村

YUMEHANA STAFF

職員ご紹介

- ①お名前（部署名）
- ②趣味・特技
- ③ひと言お願いします



①進藤さん（なごみ生活ホーム）

②ゲームと読書と登山、アウトドア全般、卓球、バイクでのツーリング。

バイクは通勤に使っているだけになっていますが、疾走感は代えがたいものがあります。

③今は地域の付き合いと主夫業が多くなっています。学生の頃は児童のボランティアにも多く参加・協力し、休日を過ごしていました。最近改めてはまりはじめたのはビリヤード。小3の三男とやるようになりました。

真剣に取り組む姿勢はいいものですね。これからも仕事に家庭に…そして地域に根差した行動をおこしていきたいと思っています。